

平成17年(ワ)第87号・同18年(ワ)第16号 遺伝子組換えイネ野外実験栽培
差止め等請求事件

原告 山田 稔 ほか22名

被告(独)農業・食品産業技術総合研究機構

証拠説明書(12)

2007年4月13日

新潟地方裁判所高田支部民事部 御中

原告ら訴訟代理人弁護士 柳原 敏夫

書証(甲91~92)

号証	標目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨
91	栃木県農業試験場研究報告第32号	1986年	佐藤文政・川田登	水田中の陽イオンのうち、Caイオン、Mgイオン、Kイオンの3種イオン濃度は、83年度と84年度の水尻(田んぼから水が排水されるところ)の上記3種イオン濃度の平均が、Caイオン 26.7mg/l、Mgイオン 9.17mg/l、Kイオン 7.99mg/l であること。
92	猪苗代現地ほ場で行った側条施肥、全層施肥での田面水水質の推移の比較」と題する書面	2003年	福島県農業試験場 農芸化学部	代かき前に施肥を行った全層施肥区における水田中の陽イオンのうち、Caイオン、Mgイオン、Kイオンの3種イオン濃度は、おおよそ Caイオン 17.5ppm、Mgイオン 5ppm、Kイオン 16ppm であること。

参考：上記書証の URL

号証	URL
91	http://www.pref.tochigi.jp/nougyou-s/seika/kenhou/kp_032/kp_032_03.pdf
92	http://www.pref.fukushima.jp/nougyou-shiken/kenkyuseika/15/sanko/sanko15.pdf

以上